

約束の土地 (1974)

ZEIMIA OBIECANA
LAND OF PROMISE
THE PROMISED LAND

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ポーランド
時間 172分
初公開日 1981/08/08
公開情報 ヘラルド

【解説】

ワイダは青春の作家だ。彼の描く若者は、希望に満ち溢れていようと、絶望に窮していようと力強く生き生きと魅力的だ。だから、この大作でも、良いのは前半の主人公たちの若く野心に燃える日々の描写であり、後半、成功者となってからの彼らを語るワイダ演出は、ちょうど彼らが燃えつきってしまったのに歩みを合わせるかのように熱意を失っていた気がする。19世紀末、列強の分割統治を余儀なくされていたポーランドの工業都市ウッジに、ユダヤ人のモリツ、ドイツ人のマックス、ポーランド人のカルローという三人の国籍も育ちも異なる若者が自分たちの製糸工場建設に向かって共に働き始める。やがて夢は叶えられ、彼らの事業は急成長するが、旧資本に睨まれ、新工場を放火で焼失以来、傾いてしまう。と同時にわき起こる労働運動に、結局、彼らも強圧的に対処する他なく、旧資本の介入も受け、三人の夢はバラバラにほつれていく。ウッジの町は決して彼らにとって“約束の土地”ではなかったのだ。

【クレジット】

監督	アンジェイ・ワイダ	Andrzej Wajda
原作	ヴワディスワフ・レイモント	
脚本	アンジェイ・ワイダ	Andrzej Wajda
撮影	ヴィトルド・ソボチンスキ	Witold Sobocinski
音楽	ヴォイチェフ・キラール	Wojciech Kilar
出演	ダニエル・オルブリフスキー	Daniel Olbrychski
	ヴォイチェフ・プシヨニャック	Wojciech Pszoniak
	アンジェイ・セヴェリン	Andrzej Seweryn